



飼い主の方と動物のために、という意識でサポートするスタッフたち。最新医療機器もフル活動。

ングを行い無理のない減量や体質改善のアドバイスをお願いします。老犬介護などは、飼い主の方の立場に立った介護指導を行っています」

「グラスウエルネスセンター」を開設し、様々なサービスを提供している。「犬や猫の皮膚はとてもデリケートです。私どものトリマーは、動物の皮膚病やケア方法を積極的に学んでおられますので、トリミングやシャンプーなども安心しておまかせください。ほかにも、しつけ教室や各種セミナーなど、ご家庭での日々のケア方法や飼い主のみなさんが実践でき

る情報発信しています」

一生涯のホームドクターをめざす  
グラス動物病院には、小林院長の他に、現在8人の獣医師がいる。看護師、トリマーなど合わせると23人もスタッフがおり、層の厚い治療を行っている。主な診療は、皮膚科、眼科、整形外科、脳神経科、泌尿器科、循環器科、腫瘍科、消化器科、麻酔・ペインクリニック、歯科などがあり、各分野において、より高度な医療をめざしている。「一次診療だけを行って二次診療は大学病院に任せるというやり方ではなく、一生涯のホームドクターとして、できるかぎりの治療を



行うことをめざしています。ですから熱意のあるスタッフを揃え、最新の設備や機器を整えているのです」  
優秀なスタッフと、内視鏡装置や超音波診断装置、半導体レーザーなどの最新の医療機器を揃えたグラス動物病院。さらには、夜間救急診療にも取り組んでおり、総合的なケアを提供できる理想のホームドクターを目指している。

## 動物たちが元気で長生きするための 予防医学や、夜間救急診療に取り組み 理想のホームドクターをめざす



Doctor  
小林豊和

Grace Animal Hospital  
グラス動物病院

「グラス動物病院」は、JR中央線荻窪駅南口の商店街を通り抜けた閑静な住宅街にある。

受付をすませ、診察室で待っていると、白衣を着た柔和そうな先生が入ってきた。院長の小林豊和さんだ。その話しぶりは、通院する飼い主に対してもそうなのだろう、じっくりとこちらの話を聞いた上で、自分の意見を発言するというスタイルだ。小林さんは言う。「動物はここが痛い、ここが痒いと自分では言えませんが、飼い主さんの話から、どの様な状況なのかを詳しくお聞きし、診療に

役立てます。ですから、獣医師はまず聞き上手でなければなりません」

獣医師のコミュニケーション能力は、適切な治療のために、必要不可欠。その認識を強く持った小林さんは、産業カウンセラーの資格も取得している。「獣医療においては飼い主さんへのケアも大切。飼い主さんにペットのことをよく理解していただくために、飼い主さんへのカウンセリングにも力を入れ、治療や飼い方のアドバイスなどを行っています」

する飼い主に、そういった話を含め、日ごろの動物への関わり方などを分かりやすくしていねいに説明する。「何よりも、愛する動物たちと元気に長く暮らしたいという飼い主さんたちの願いをできるだけサポートする、それが獣医師の仕事の柱だと考えています」

動物たちが元気で長生きできるために  
そういった考えから、病気にならないための医療（予防医学）にも積極的に取り組んでいる。  
「生活指導、食事指導、肥満管理、デンタルケアなど、ご相談いただける環境を作っています。例えば肥満管理などは、個別カウンセリ